

FUD 会員全員参加で有終の美を！ ～第10回ふくしまUDフェアに向けて～

朗報です!!



今年フィナーレとなる「第10回目ふくしまユニバーサルデザインフェア」のプロデュースをUDの第一人者中川聰氏にお願いすることになりました。世界を舞台に忙しく活躍しているにもかかわらず、また厳しい予算にもかかわらず快諾して頂いたことに感謝しております。その善意に感謝し、これが次の足がかりになるよう会員皆様とともに知恵を出し合い立派に具体化し、成功させましょう。

開催期間：9月19日(金)～21日(日)
会場：ビッグパレットふくしま
(多目的ホールC)
テーマ：UDフェア10年の歩みと
これから期待されるUD発見!

●第9回ふくしまユニバーサルデザインフェアも無事に終了しほっとしながら、今年の第10回目の事を考えたり、ここまで9年よくやってきたな～とチョットしみじみしたりする事もあります。当初は運営推進スタッフも10人前後でしたが、ここ5・6年は4・5人のスタッフで、企画から手配・交渉やテナント営業(収入部分)・展示・現場立会いまですべてやってきました。それでも今年が最後の第10回UDフェアだと思うと、ぜひ良いけじめにする為に有終の美を飾れるものにしたいと頑張っております。

●第10回は、総合プロデューサーに日本のUDの第一人者である中川聰氏を迎えて、中味の濃い楽しく実のあるイベントにすべく鋭意検討打合して力を振り絞っております。今までにないUDの実学と産業界とのコラボレーションと回顧展を実現しようと中川氏(トライポッド・デザイン株式会社)や商工会議所と協議中です。ワークショップでの地元のパートナー企業のご推薦やフェア出展企業の情報・勧誘のご協力をお願いします。

●全国的にみても民間主導でこれだけ(10回10年)のUDイベントを実施しているところは無いそうです。一番の先進地である静岡県の担当課長が視察ヒアリング調査して驚いていました。今年最後の補助事業でのビッグパレットでの「ふくしまユニバーサルデザインフェア」にUD会員全員の参加を期待しています。

●NPOふくしまユニバーサルデザインの社会的な使命と位置づけを明確に打ち出した会の一大事業が今年最後です。来年からは形を変えて「地道にそして多彩に」UDの啓蒙普及活動を進めていきますので、会員の皆様から身の回りや地域のこれからのUD活動のアイデアやヒントを募って新たな活動展開を図りたいと考えております。皆様のご意見をはじめ、沢山のアイデア・提案・ヒントをお寄せください。

NPO 法人ふくしまユニバーサルデザイン
理事長 佐々木善寿

スタッフ募集!!

「第10回ふくしまユニバーサルデザインフェア」の(準備・当日)お手伝い参加をお願いします。是非みなさん、事務局担当といっしょに頭と身体の汗をかきましょう!(お申し込みは裏面用紙にて)

■出展テナントアプローチ

前回出展者FUD担当分への(リストあり)出展呼びかけ、出展内容・企画等打ち合わせ確認、(商工会議所との情報共有)
事務局担当：千代、近藤、今川、佐々木

■イベントフォロー

イベント時のアシスタント(オープニング・審査会・セミナー・パネルディスカッション・ワークショップ・世界ベンチイスコンテスト・ファッションショー・買い物広場・スローフード)
事務局担当：西家、小野塚、今川、小野

■会場ブース制作

テーマコーナーの制作アシスタント(中川聰展・台湾UD展・UDF10年展)
事務局担当：篠崎・千代・近藤・後藤



昨年のUDフェアの様子

5月7日(水) 14:00～トライポッド・デザイン株式会社代表の中川聡さんを佐々木理事長・事務局千代とで訪問しました。250坪のワンフロアの広々とした事務所の1室で、秘書の土橋さんと中川さんが出迎えてくれました。



左より佐々木理事長・中川聡氏・千代

総会での講演の御礼を申し上げ、集大成としての第10回UDフェアへの協力をお願いし、快く承諾していただきました。

- ①フェアの総合プロデュース
- ②講演会
- ③中川さん監修のプロスクール型ワークショップ
- ④5月15日からトヨタUDショーケースで開催されている台湾UDアワード展の展示(ダンボール製のタワー型エコブース)
- ⑤中川聡(トライポッド・デザイン) 個展併設

テーブルの上には先月TV放映された捨てられた100円ライターをつなぎ合わせてランプにしたものがおいてあり、「この表面のすれ具合がいいんですね」と言う中川さん。最近、ごみのプラ板破片をつなぎ合わせてボタンを作ってみたところ、「けっこう魅力的だった」そうです。



また、UDとエコ・サステナブル(人にやさしく自然に優しく)をテーマに、福島県で活動するFUDに対して、数々の提言とアドバイスをいただきました。

- 地域活性化の助成金を利用し、福島県内の日の当たらない場所の素材にUDの目線でニュースになるヒットものづくりをする。(昭和村のからむし織りのように)
- 「台湾50選展」のように、「ふくしまのUD100選」はどうか。
- 「山梨(クリエイターズ会議:女性30人)100選」をニュージーランド、オーストラリアへPRした。
- ユニバーサルツーリズム(ふくしまのUD地図)
- 福島空港でしっかりしたものを売る。
- デザインは気づくかどうか。
- 意外なデザインのもの(デザインイノベーション)をつくるのが大切。
- IYグループでヒットするものは、エモーショナルか実務的かである。
- これからは、ロシア、アジア、ブルガリアなども売り込みの対象に考えるべき。
- これからはウェアラブル(移動性)がポイント。高齢者は移動が心配ですから。
- いま、日本の箱膳をヒントに究極のスタッキング(収納性)を探求している。
- 頭を使わないとできない木製品(間伐材のワインケース・ポリカーボネートとのバス停)。
- 葉っぱはなぜその形なのか、ずっと眺めながら(バイオミメティック)環境と人間の暮らしを考えている。

今年から、東京大学で教鞭を執ることになり、「将来の日本を担う若者にUDを学んでもらいたい」と意欲的です。さらにUDセンターなどの構想もあるということで、次々と尽きる事のないUD実践のアイデアやヴィジョンに圧倒されそうでした。

大変ありがとうございました。



ユニバーサルデザイン 10年目の転換点、新たなステージをめざして。

4月12日(土)、郡山ビューホテルにおいてNPO法人ふくしまユニバーサルデザイン第5回定期総会を開催しました。会員23名のほか、丹治一郎郡山商工会議所会頭、吉田公男県会議員が来賓として参加しました。

はじめに佐々木善寿理事長より「ユニバーサルデザイン10年目の転換点」についての挨拶がありました。「政治の混乱が続き、格差や地方における社会経済の疲弊、地球温暖化、食品偽造事件等、社会の根幹である安全・安心を揺るがす状況がいつまで続くのか。21世紀のテーマとなるUDを私たち市民・企業人・FUD会員が具体的に社会に反映させる活動段階に入っている」と話し、今年で最後となる「第10回ふくしまUDフェア」を盛り上げ、併せてUDを掲げるNPOとして新たなステージを見出すためご支援ご協力を賜りたいと締めくくりました。

議案については、すべて全会一致で承認され、新理事に近藤慎吾氏、千代貞雄氏が選任されました。

2部の記念講演は、UDの表現者として今、最もホットな一人である中川聰氏(トライポッド・デザイン株式会社代表)によるもので、テーマは「UDの潮流、日本・福島の現状とこれから」。海外事情紹介として、中川氏が関わり進行中の台湾・韓国のUDインフラ取組状況を映像を交えて説明がありました。「まだインフラ途上国という様相は否めないが、現地関係者の熱心さに圧倒されるほどで、その並々ならぬ貪欲さがうかがえる。日本のあらゆるシーンにUDを取り入れることの重要性、地域の宝を活かした取組で地場産業活性化やビジネスチャンスにつなげる工夫や努力が肝要。地球環境負荷軽減までも視野に置いた表現が必要である」等、まさにUDトレンドをクリエイティブしている立場での臨場感あふれるお話を聞くことができました。



3部の懇親会では丹治一郎商工会議所会頭から「第10回ふくしまUDフェアを成功させるため一丸となって行動していこう」という頼もしいお言葉をいただきました。懇談においては、それぞれが思いを語り合ったり中川氏のUDとエコについての熱い思いを聞かせていただいたり和気あいあいの中にも皆さんの思いの熱さを垣間見る充実した時間を過ごすことができました。



発展的なUDが求められている ～講演を聞いて感じたこと～

FUD専務理事 小野 勉

トライポッド・デザイン株式会社代表の中川聰氏はUDのビジネスモデルやUD達成度評価基準等、より具体的な活動を行っており、また企業活動にも積極的にコンサルティングを行い、ものづくりUDでもリーダーとして活躍されています。記念講演のお話は、高齢化社会を成熟型の社会と捉えることや環境とエコにおけるUD等、興味のある内容で大変参考になりました。

今、人権やアダプテーションを基本としたUDの考え方から、社会の変化や状況によってもものづくりと環境におけるサステナビリティ、利便性や市場性のみを追求するのではなく作り手と使い手の間に関係責任(レスポンスビリティ)を考慮した、誰もが排除されないUD、発展的な考え方のUDが必要とされているのではないのでしょうか。

現代社会においては自然環境は益々小さくなって代わりに人工的にデザインし作られた人工物による生態環境圏に生きようになってきました。このような状況下では人がデザインし作ったものによって影響され続けますから、人や自然に対する影響を倫理観をもって考慮される必要があります。倫理観は本来自己の内面によるものですが、思いやりや優しさはすべてにとって、普遍的価値を持つものですから適切なものづくり創造の倫理をUDのキーワードとして考慮することが必要です。

日本の企業がCSRの提案や製品としてのUDを行っていることは世界から高い評価を得ています。技術立国である日本は各国に対してUDのものづくりを思想的、技術的、資金的に積極的にアピールすべきと思います。雑感となってしまいましたが、色々な目線でUDを考えることも必要と考えます。

新会員紹介

■ 正会員

- ① 小沼 一夫 様 (太陽漆器(株)) ————— 会津若松
- ② 吉田 公男 様 (福島県議会議員) ————— 郡山
- ③ 小島 寛子 様 (郡山市議会議員) ————— 郡山
- ④ 吉田 栄平 様 (株)石田工業所安全協議会) — 郡山

■ 準会員

- ① 遠藤 幸子 様 ————— 郡山
- ② 西間木徳子 様 ————— 郡山
- ③ 菊地 徹 様 (森の風) ————— 郡山
- ④ 本間タケ子 様 ————— 郡山
- ⑤ 羽根善之助 様 (郡山 yosakoi 代表) ————— 郡山
- ⑥ 佐藤 政喜 様 (郡山市議会議員) ————— 郡山
- ⑦ 蛇石 郁子 様 (郡山市議会議員) ————— 郡山

Google ニュースアラートより

台湾デザインの実力と未来 UDアワード展開催

トヨタ ユニバーサルデザイン ショウケースにおいて6月22日まで「台湾デザインの実力と未来 台湾UDアワード展」が開催された。本展示会は、『食』『清潔』をテーマに、一昨年と昨年の台湾UDアワード優秀作品20点を紹介。また、食器、調理道具、掃除道具、水回りグッズなど、台湾の人々が生活の中で使用するグッズの展示や、体験コーナーも。



〈5.15 トライポッド・デザイン(株)〉

政府がユニバーサル基本法に検討着手

基本法では、少子高齢化が進む中、女性、高齢者、障がい者が持てる力を発揮できるよう、基本理念や、財政上の措置を含めた国・自治体の責務を定める。誰にでも使いやすい「ユニバーサルデザイン」の理念を社会全体に拡大する狙いがあり、社会保障国民会議の議論でも法整備を求める意見が出ていた。

〈5.24 読売新聞〉

「Web アクセシビリティ」の通信教育講座を開始

NTTラーニングシステムズとNTTクラリティが共同で、通信教育講座「Web アクセシビリティ」を開始した。受講料は9月30日までの間、社会貢献割引価格を設定し、個人の税込定価は25,410円/人、団体は23,100円/人で提供する。標準学習期間は2ヶ月。

〈5.22 ふくしチャンネル〉

UDミュージカル：歌や演劇の出演者募集／愛媛

NPO法人東京オペラ協会と同愛媛支部「オペラプラザ愛媛」(秦美智世事務局長、20人)が今秋、出演者に歌や演劇の経験者や素人、障害者を公募するユニバーサルデザインミュージカル「The Land of Happiness」の公演をする。今月末まで出演者を募集している。

〈5.20 毎日新聞地方版〉

キューピー、とろみ調整粉末「とろみファイン」をより溶けやすい品位にリニューアル

キューピーは、「やさしい献立」シリーズのとろみ調整粉末「とろみファイン」をより溶けやすい品位でリニューアル発売。

現在、介護食市場全体において、「とろみを調整する粉末」は約6割を占めている。高齢者は、体内水分保持量が年々減少していくため、1日1300mlの水分補給が必要といわれているが、嚥下(えんげ)機能が低下してくると水やお茶などのとろみのない水分は最も飲み込みづらいものとなる。「とろみファイン」は飲み物や食べ物に加えると、簡単に適度なとろみをつけることができる商品。今回は、原材料の種類と組み合わせを見直し、溶けやすさを向上させたとのこと。その結果、透明感が増し、とろみもよりスピーディーにつけられるようになったという。

キューピーは1998年10月に介護食を発売し、1999年8月から「やさしい献立」シリーズとして展開してきた。他社には少ない「区分1 容易にかめる」レベルの商品をはじめ、日本介護食品協議会が定義したユニバーサルデザインフード4区分すべての区分に対応している。さらに水分補給・嚥下補助のためのとろみ調整商品など、今回の新製品を含め全45品にわたる幅広い商品群を取り揃え、消費者のニーズに対応していく考え。

〈5.12 マイライフ手帳@ニュース〉

第10回ふくしまユニバーサルデザインフェア ボランティアスタッフ

参加申込書

ボランティア活動のチャンスです!! UDは現代社会に欠かせない重要なキーワードになりました。そんな思いを共有できる会員の皆様、また興味をお持ちの非会員の方、この機会にぜひボランティアスタッフとして参加してみませんか。皆様の活力で成功へ導き、次への可能性をつかみとりましょう。

お申込日 月 日

所属		FUD	<input type="checkbox"/> 会員 <input type="checkbox"/> 非会員
住所	〒	—	
TEL FAX		E-mail	
参加者名			
希望日	準備▶ <input type="checkbox"/> 7月__日~__日 <input type="checkbox"/> 8月__日~__日 <input type="checkbox"/> 9月__日~__日 <input type="checkbox"/> 9月 <input type="checkbox"/> 18日(設営) <input type="checkbox"/> 19日(会場) <input type="checkbox"/> 20日(会場) <input type="checkbox"/> 21日(会場) (お手伝いいただける日すべてにチェックしてください)		

●上記に必要事項をご記入の上、郵送またはFAXにてお申し込みください。

●郵送にてお申し込みいただく際は、必ずコピーして控えを取っておいてください。

※この申込書に記載された個人情報は、参加申込受付業務、申込者との連絡業務(講座のご案内を含む)等、本事業の業務以外には使用致しません。